

オリジナル歌芝居集団おつ、ぺれつた台本

『歌謡サスペンス？コメディー恋はコソツと』

作…永井寛孝

【登場人物】

ジミー北沢（ジミーズカンパニー社長）

課長

中田（社員）

星月きらら（社員・中田の先輩）

高見沢りょう（社員・中田と同期）

女子社員たち（ある時はラスベガスのシヨール？）

【オープニング】会社オフィス

M 『会社は踊る』

全員 ♪ グッドモーニング

さわやか グッドモーニング

中田 朝は早起き 満員電車 (ギューギュー)

知らない人と 体くっつけて (ウーワアー)

星月 ゆらりゆれたら 傾いたまま (オーノー)

サンドイッチの中身みたいに (ゲーゲー)

足は宙に浮いて

全員 鼻をかこうにも 手が動かせない (ムズムズ)

課長 無理に動かせば 振り向きざまに (何するんですか、やめて下さい)

高見沢 汗ばむ体 こすりこすられ (ベトベト)

他人の鼻息 首に感じて (アゝハア)

全員 みんなどこへ行く

同じ時間に家を飛び出して

同じ電車に揺られて

同じ本見て 同じ服を着て

同じレールをひたすら走る

社長 そんな毎日グッバイ お仕着せの生活グッバイ

ありきたりの日々グッバイ

楽しくワーキング 愉快にワーキング ナイスデー

ウエルカム ウエルカム マイカンパニー

全員 ジミー ジミー ジャストジミーズ

そうさ仕事は 楽しくダンシング

リズムに乗せて 心弾ませて

会社が踊れば 社員もシンキング

イツツ ハッピー ハッピー ハッピー ハッピー

ジャストジミーズ カンパニー!

ジャスト ジミーズ! (ハイ!) ♪

課長 直れ。では社歌斉唱に続きまして、ジミー社長のお言葉をいただきます。

社員一同、拍手する。

社長 みなさん、おはよう」ぎいます。ジミーズカンパニーも間もなく創立二年を迎えます。これもここにいる社員のみなさんのおかげと感謝しております。感謝の気持ちを形にかえて、慰安旅行を企画しました。

社員一同、拍手と歓声。

社長 行き先は、アメリカ西海岸。

社員一同、感動の溜め息。

社長 日数は一週間。

社員一同、驚きと感動の「わあ…！」

社長 出発は今夜。

社員一同、驚きの「ええ!?!」

社長 行くのは私一人。

社員一同、目が点

社長 行ってきます。

課長 社長、待って下さい。それではアメリカ西海岸一週間の慰安旅行は、社長お一人で?

社長 ええ、取りあえず。

課長 取りあえず、と申しますと?

社長 わたしが無事に帰って来たら、次は課長のあなたが出発します。

課長 わたし一人ですか?

社長 そうよ。

課長 まさか、ひとりひとりばらばらで慰安旅行に?

社長 もし、飛行機が落っこちても犠牲者は一人で済むでしょ。

社員一同、納得の「ああああ」

課長 よく納得できるな、君達。

社長 それじゃ、あとのことはよろしくね。

課長 社長……

社長、去る。

課長 そういうことだから、社長の留守の間、何事もないように、みんなで協力しあって行こうじゃないか。……な。

一同、「にっ」と笑う。

課長 何か、事件が起きなければいいが……

ME (サスペンス)

スライドでタイトルが映し出される

「歌謡サスペンス? コメデイ 恋はコソツと」

暗転と共にジェット機の飛び立つ音

【第一景】会社オフィスのあるビルの屋上

中田、切なく登場

M『切ない唄』

中田 どんよりと曇った空、今にも泣き出してしまいそう。あなたには私の心が分かるのね。この私のやるせない叫びたいくらい辛い思いが。さあ思う存分泣きましよう二人してどうして突然陽がさすの? あなたもそうやって私を、私の心を振り回すのね。あの人のように。……ああ、切ない。

♪ 張り裂けるほど気が狂うほど

心の中に切なさを 持て余して

ただ溜め息ばかり 繰り返すだけ

溜め息が いつまでも 終わらない

ハア ハア ハア
吐いても吐いても きりがない
ああ ハア ハア ハア
きりない 切れない だから切ない キリがない
切るといふ字は 七つの刀 ♪

中田 全然訳のわからない唄だったわ。きっとこれもこの切なさのせいね。

課長、やって来る。

課長 中田君、何やってんだこんな所で。

中田 あっ、課長：

課長 仕事、まだ終わってないんだろ。最近ちよくちよく居なくなるもん

だからこうしてあとをつけて来たら、こんな屋上でたそがれて歌
なんか唄ったりして。

中田 丁度、たそがれ時だったものですか。

課長 君は時間経過に合わせて歌を歌う癖でもあるのか？

中田 はい。

課長 じゃ真夜中だったらどうするんだ？

中田、「真夜中のギター」を歌い出す

途中から課長も加わりハモる

課長 中田君、そこまで。いやあ、なつかしいなあ。ちががおるの「真夜中のギ
ター」か。昭和40年以降に生まれた人間には殆どわからないのがネック

中田 だが私は嬉しかった。

課長 ありがとうございます。
それじゃ中田君、真っ昼間だったらばなんとする？

中田「手のひらを太陽に」を歌い始める

課長も乗って歌い踊る

課長 中田君、いい！ すんごくいい！ 忘れかけていた子どもの頃の純朴な感性が
うわっと蘇った。

中田 それでは課長、失礼します。

課長 ありがとうございます、とっても楽しかったって待ちたまえ。肝心の話をし忘れると
ころだった。君はどうしてちよくちよく仕事をほっぴらかしてはこんな屋
上にやって来て：

5時をしらせるチャイム「遠き山に日は落ちて」が鳴る

中田 課長。

課長 (歌い出す)

中田 お先に失礼します。

課長 中田君！ いい加減にしまえよ、私の純真な感性を弄んで。もうい

い、余計な詮索はしないから、せめて会社が終わってからぐらい仕事
したまえ。

中田 …はい。

二人行こうとすると、先輩OL星月きららがやって来る。

M『星月きららのテーマ』

星月

♪ 決まりきった夕暮れ

わかりきった茜色の空

風は判で押したように

私の髪をなびかせて

ああ 私は今日も美しい

大空を藍色が支配して 群青色に座を譲る

やがて星はまたたいて 私の瞳にやどるの

ああ 本当に 美しいって 退屈

ルラルラル ルラルラル ルラルラル ♪

星月 去る。

課長 いつものことながら、彼女はマイベースだな。な、中田君。

見ると。中田、胸を押さえて苦しがつている。

課長 どうしたんだ、中田君！

中田、気を失う。

課長 中田君！ しつかりするんだ！

脈をとる。

課長 あっ…(胸に耳をあてる)大変だ、オッパイがない！

中田 課長！

課長 おっ、気がついてよかった。一体どうしたんだ、急に苦しがりしたて。

中田 何でもありません。

課長 何でもないわけないだろう、どっか体の具合でも悪いんじゃないのか？
いいえ。

中田 病気か？

課長

中田 (中田から手を離し) 伝染るのか？

中田 違います。

課長 じゃ何なんだ。何を隠しているんだ。

中田 課長、すいません。それだけは聞かないで下さい。

課長 話したくないというんだな。

中田 ……はい。

課長 ……よし、分かった。

中田 実は、

課長 話すのか？

中田 はい。話せば長いことながら、
うん。

中田 歌い飛ばせばほんの一分。

課長 歌いなさい！

M 『患いの種あかし』

中田 ♪ ああ ああ ああそれは はあ

るるるるら つくまくり

シユビドウビヤン パ。パ。パヤン

恋の病 ウウ パ。パ。パヤン ♪

中田 恥ずかしい！…

課長 は？

中田 聞いてなかったんですか？

課長 聞いてましたよ。

中田 恥ずかしい…

課長

中田 やつぱり聞いてなかったんじゃないですか。もう、又歌うんですか？い
やんなっちゃうな…

課長 いやんなっちゃうよ。何だ今しがたの唄は。話せば長いことながら歌い
飛ばせばほんの一分って歌わなきや1秒で事が足りるじゃないか。

中田 「恋の病です。」あ、ほんとだ。

課長 「ああ」とか「はあ」とか「シユビドウビヤン」ぽ余計だったんじゃないのか？

中田 雰囲気を作ろうと思ひまして。

課長 いいんだよ、説明に雰囲気なんか作らなくても。要するにさつき苦しがつてた原因は、

中田 恋の病です！

課長 随分切れがいいね。とても病気とは思えんがねえ。

中田 (か細く)恋の病です。

課長 いいんだよ。無理に病を装わなくても。それでその相手というのはまさか社内の人間じゃないだろうな。

中田 (うつむく)

課長 いかん！ 社長の留守の間は、この私が会社の責任者だ。社内恋愛は許さん！

M『ご法度ソング』

♪ 駄目だ 駄目です いけません

公私混同許されないの

ここは会社 社会の歯車

職場のラブはご法度社内恋愛 御法度

(女子社員たちも加わる)

日本経済世界一

滅私奉公 お国の宝

ここは会社 社会の歯車

職場のラブはご法度

社内恋愛 御法度

好きだ 好きです 好きなのよ

会社に来るたび そわそわドキドキ

目線胸キュン 書類はバサッと

ドレフアンシド じゃダメなの

中田 どういう意味なんですか？

ミ(身)！が入らない

だから 御法度 ♪

中田 でも課長、会社に来る楽しみはそれしかないんです。

課長 そういう台詞は言いにくそうに言うのがせめてもの礼儀じゃないか。で、相手というのは誰なんだ？

中田 それは言えません。

星月 星月、現れる。

星月 課長、お先に失礼します。

課長 ああ、お疲れさん。

中田、倒れる。

課長 あれ？ 中田君どこ行ったんだ。まさか、思い余って…(下を見下ろすが、その際中田を踏み台にしている事に気付かない)あ、駄目だ。目が回る。気持ち悪いオエツ…中田君、こんな所にいたのか。(抱き起こし)しつかりしたまえ。

中田 (脈を取る)あっー(胸に耳をあて)大変だ、オッパイがない！

課長！

中田 おつ、気がついてよかった。どうしたんだ、あつちでボタンこつちでボタン。まるで今話していた恋する相手がいきなり目の前に現れたみたい…まさか！ まさか君、君が恋しているというのは…

中田 はい。好きになってしまったんです、彼女のことを…

BGM『切ない唄』バラードで

課長 し、しかし君、相手は女だよ。それに君だって例え胸はなくても女は女、顔は童顔でもオールドなミス。まったく、君のように流行に鈍感な女性がなんだって同性愛なんかには走るんだ？

中田 課長、人が人を好きになるのに理由があるんでしょうか。
課長 惜しい

M、止まる。

中田 え？

課長 今の台詞、君じゃなかったらどんなにか説得力があったらうに、惜しい。

中田 どういう意味ですか？

課長 つまりだ。普段から理論的に物事を考える人間が、ある日突然「人が人を好きになるのに理由があるんでしょか」って言うドキッとすることが、君のように理論と関係ない所で生きている人間が同じ事を言っても、ただのわからんちんの言い逃れに聞こえてしまうということだ。

中田 わからんちんの言い逃れ？

課長 うん。(歌って)わからんちんの 言い逃れそれは…

中田 唄っていただかなくて結構です。たしかに私は理屈の似合わない女かもしれませ

課長 疑っちゃいかん。君と理屈は不適合、水と油、巨人と一茂だ。

中田 とにかく、こんなことは私も初めてなんです！ 私にこんな才能があったなんて。

課長 才能とは言わんだろう。

中田 私にこんな潜在能力が…

課長 それでもないよ。

中田 パワーが、

課長 違う。

中田 ご神体

課長 何を言ってるんだ。難しいことを言おうとしなくていいから、星月君を諦める方法を考えるんだな。

中田 課長にそんなことを言う権利はありません。

課長 ある。君が誰を好きになろうがそれは勝手だ。だがそのことで会社の仕事がおろそかになるようなら上司として対処しなくてはならない。悪いことは言わん。同性愛の片思いは後々大変だぞ。

中田 この頃は、星月さんのこと考えるだけで気が遠くなるんです。

課長 困ったもんだな。社内恋愛、しかも同性を好きになるとはな。一体私にどうせいつちゅうんじや。…(と中田を窺う)

中田 私、真剣に悩んでるんです。課長は人を好きになったことがないから、人の話を真剣に聞けないんです。

高見沢、来る。

高見沢 課長、残業終わりました。

中田 高見沢君、いつもながら仕事早いわね。

M『できる男の歌』

高見沢 僕のとりえはこんなことくらいさ。

♪ 山と積まれた書類 書類があつて 時間がなくて
人がいなくて 書類があつて

あるのは一人 高見沢りょう 苦しい時のりょう頼み
テキパキキビキビ 僕にお任せ テキパキキビキビの
高見沢

好きな言葉は 精一杯！ ♪

お先に失礼します！

中田 お疲れさま。だから課長は人を好きになっただことがないから…

課長？ 課長！

課長 高見沢君…

課長、高見沢を二、三散歩歩追ってから倒れる。

暗転

【ロスアンゼルス】

M 『ジャストアライヴ』

ジミー、サングラスにカメラ、ポストンバッグで登場

ジミー ♪

ジャストアライヴ ここがアメリカ

ジャストアライヴ そこもアメリカ

ジャストアライヴ あれもアメリカ

ジャストアライヴ どこもアメリカ

ジャストアライヴ 全部アメリカ

みんな体がでかい

男も 女もでかい

日本人は小さい

その日本人の中でも

僕は小さい

僕は髭のはえた 子供じゃない ♪

見事に歌い上げて暗転。

【第二景】公園

M(星月きららのテーマ)
夕暮れの中、星月やって来る

星月
(歩いて来た方を振り返って)夕暮れのペイヴメントに私の影法師が長
ーく延びて：夕日さん、私はもう充分スマートよ。

ベンチに腰掛け、コンパクトを出し顔を映す

星月
完璧だわ。

高見沢、星月を目隠しする

星月 誰？ 誰なの、許可もなく私の瞳をさえぎるのは。
高見沢 当てるごらん。
星月 わからないわ。
高見沢 考えてごらん。
星月 ヒントはいたただけて？
高見沢 喜んで。

M『愛のボンデージ』

♪たとえ今夜命つきるとも
わが思い 永遠につきせん
この身 紅蓮の炎に包まれるとも
君 焦がれし恋の火炎 さらに勝らん
おお愛のボンデージ
この身はボンデージ
君にまといっきともに息づかう
おお 愛のボンデージ
この身はボンデージ
君に縛られ 僕は自由になる

愛のボンデージ
この身はボンデージ
君に縛られ 僕は自由
になる ♪

高見沢 さあ、お応え下さい。私は誰でしょう？
星月 あなたは、
高見沢 私は？
星月 あなたは私の、
高見沢 私はあなたの

しくもくべし

星月 今日のしもべは随分コシが効いてたわね。

高見沢 遅くなってごめん。

星月 女を待たせるなんてエチケツト違反よ。

高見沢 残業だったんだ。

星月 ありふれた言い訳ね。

高見沢 ほんとだって。

星月 ほんとでもつまんないわ。

高見沢 つまんなくたってほんとなんだから！

星月 さよなら。(と、行こうとする)

高見沢 好きだ。

星月 (又、行こうとする)

高見沢 愛してる。

星月 (またまた、行こうとする)

高見沢 気が狂うほど。

星月 (さらに)

高見沢 死んでもいい。

星月 (振り返る)

高見沢 君のためなら。

星月 死んで。

高見沢、「うっ。」と死んだ真似

星月 気が狂って！

高見沢、狂った真似

高見沢 (狂いながら) いかげでしようか。

星月 気が狂いながら死んで！

高見沢、そうする

星月 お願い、もうやめて！

高見沢 分かっていただけでしたか？

星月 恥知らず！

高見沢 君がやれって言ったんじやないか。

星月 言い訳はもうたくさんよ。

高見沢 何も言っていないよ。

星月 ほらまた。

高見沢 僕にどうしろっていうんだ？

星月 フイジカル。

二人、見つめ合いキスする
課長、中田やって来る。

中田 結局、同じ穴のムジナじゃないですか。

課長 失礼なことを言うな。何で君と私が同じ穴に入ってムジナにならなきゃならないんだ。大体ムジナってどんなものなんだ？

中田 (キスする二人に気付いて)あ

課長 あ、じゃないよ、いいか、人には本音と建前と言うものがある、増して私のような立場のある(気付いて)あ……。全くこの頃の若い連中ときたら…

中田 課長。

課長 うん？

中田 うらやましい

課長 中田君、見ちゃいかん。君には目の毒だ。

中田 大丈夫ですよ、もう子供じゃないんですから。

課長 もうってのは何だ、図々しい。さ、行こう。

中田 課長先に行って下さい、私見学して行きますから。
課長 何を言ってるんだ、今の君には刺激が強すぎる。さあ行き給え、ここは私に任せ。

中田 課長だって刺激強すぎですよ。

課長 私はこう見えても大人だ。

中田 どう見ても、ですよ。

課長 痛み分けだな。

課長、中田去る

高見沢 (離れて)どう、合格？

星月 それがなければね。

高見沢 それって？

星月 いい？ 肝心なのはアフターキスよ。フィジカルに高まった気分をレトリックでフォローして。

高見沢 日本語でお願いします。

星月 いいから。目隠しからもう一度。

ベンチに座り、目をつぶった星月に、高見沢が改めて背後から近づくが、さっきと違うのは高見沢の後ろに段ボールが二つ、ついてきていることである。
高見沢、星月を目隠しする

星月 誰？ 誰なの、許可もなく私の瞳をさえぎるのは。

高見沢 私はあなたの

星月 あなたは私の？
高見沢 ♪ しゅもくべく
星月 コブシの効いたしもべ。
高見沢 ありがとうございます。
星月 ファイジカル。
高見沢 素敵だったよ。
星月 キス、うまいのね。
高見沢 キスは一人じゃできないんだよ。
星月 とろけそうだった。
高見沢 これから君のこと、メルティーって呼ぼうかな。

段ボール箱、こける

星月 じゃあなたは、私をとろかす、レンジ？

段ボール箱、こける

高見沢 メルティー
星月 レンジ。かつこいい、石橋蓮司みたい！

ボール箱、のたうちまわる

高見沢 ずいぶんさわがしいね。

星月 誰か見てるのかしら。

高見沢 どうやらそうみたいだ。さっきからずつと見られてた。

星月 ほんと？

高見沢 ほら。（と空を指し）あんなにいつばい。

星月 ほんとだ。許さないぞ、のぞきなんて。

二人 うふふっ……

課長 （段ボール箱に顔をかくし）どうもすいません、別にのぞくつもりは全くなかった…いえ少しはあったのかな、いえでもここは一応公園ですし、なあ中田君。

中田 （顔を出し）課長、こんな時に名前では呼ばないで下さいよ、ねえ高見沢くん…！？

課長 何だって！？（顔を出す）ああっ！

M（コンマブリッジ）『愛のポントージ』
課長、中田段ボール箱の中にへたりこむ。

顰見合わせる高見沢と星月。
溶暗。

【ラスベガス】

M 『ベガスブルース』

ギャンプラー風にコスチュームアップしたジミー登場

ジミー ♪

真昼のような夜の街
真夏のような熱い街
カジノに夢のせー攫千金
眠りを忘れたベガス
ベガスベガスベガスベガス
ベガスベガスベガスベガス
ラスベガス でがす

新宿歌舞伎町

世界に不夜城ある中で
砂漠に浮かんだ ネオンのオアシス
エンターテインメント ベガス
ダバダダダダダダダダダ
ダバダダダダダダダダダ
ダバダダダダダダダダ
ネバダ州 ♪

まさか、会社の慰安旅行でブラっとこの街を訪れた僕が、こうしてラスベガスのステージに立ってるなんて、まさにアメリカンドリーム。

この感激をスーヴェニアにして、たった一人の慰安旅行を続けたいと思います。

アイ ラヴ ベガス！ つて言えたらいいな。

ジミー、去り暗転

【第三景】屋上

M 『切ない唄』

課長、思い詰めた様子でやって来る

課長 どんよりと曇った…(空を見上げ)快晴の空、まるで私を嘲笑ってでもいるかのような。お前には私の心がわからないのか。この私のやるせない、叫びたいくらい辛い思いが。さあ、思う存分笑うがいい。

カラス、鳴く

課長 カラス、お前もか。ああ、あの大ガラスさえも傷つき疲れた私のこの心をついばみ飛び去って行く。彼のように。ああ、切ない。

♪張り裂けるほど〜

中田 課長。(とやって来る)

課長 中田君 少し得つてくれないか。

中田 はい。

課長 …ああ、切ない。

♪ 張り裂けるほど 気が狂うほど…

中田 課長。

課長 中田君、もうちよつとだけ頼む。

中田 すいません。

課長 ああ、切ない。

♪ 張り裂けるほど 気が狂うほど

心の中に切なさを 持て余して

中田 課長。

課長 そんなに私歌わせたくないのか。

中田 はい。いや、そうじゃないんです。実は、課長にお願いがありました。

課長 生憎だが、今は他人のお願いを聞けるような 情態じゃないんだ。私の心はボロボロだ。

中田 それは、お顔をみれば。

課長 顔がボロボロだと言ってるわけじゃないんだよ。

中田 当たり前じゃありませんか。どうしたんですか？

課長 いや、すまん。どうもひがみっぽくなってしまうて。

中田 課長が高見沢さんに振り向いてもらえないのは顔のせいばかりじゃないと思うんです。

課長 やつぱり顔のこと言ってるんじゃないか。

中田 課長、私を男にして下さい！

課長 今、何と言った？

中田 私を男にして下さい

課長 どうとう来たな。もともと背が低いから頭に来るのは時間の問題だとは思っていたが、こんなに早く到達するとは思わなかった。

中田 星月きらさんと高見沢さんがお付き合いらしてわかってから色々考えたんです。もう諦めよう、きららさんを追いかけるのはやめようって。でもこのまま同じ会社にお勤めしていたらきつといつまでたつても思い切れない、だってまだ何もきららさんに私の気持ちを伝えてないんですから。

課長 ちよつと待ちたまえ。今更気持ちを伝えるもなにもそんな事したつてもう無駄なんだよ！

中田 私と高見沢さんと、一体どう違うっていうんですか！

課長 …

中田 ほんら、課長だつてよく分からないじゃないですか。
びっくりしてたんだよ、あんまり呆れ返つて！だつてそれはいく

課長 ら何でも高見沢君に対して失礼だろう。何から何まで、あれ？これが
おんなじ種かしら？ と思うくらい違いまくってるよ。

中田 私が仮に男になつたとしたら？

課長 余計に違いがはつきりするだろう。今までは星月君と同性というこ
とで見逃されてたんだよ。

中田 そこなんです。私は今まで同性だったことできららさんの恋愛の対
象にならなかつた。

課長 そうかな。

中田 そうです！ 絶対そうなんです。だから男になつて、高見沢君と同
じスタートラインに立つんです。

課長 なんだか悲壮なものを感じるな。

中田 そうですよね！

課長 あ、はい。

中田 じゃさつそくお願いします！

課長 しかし、女の君を男にすると言つたつて。

中田 もし、これがうまくいけば課長にも高見沢君と交際できるチャン
スが：

課長 チャンスつて、どんな？

中田 高見沢君と交際できる…

課長 やろう！ やつてみようじゃないか。人生すべからく挑戦だ。

M『当たつて碎けず！』

♪ 砂を噛むような人生ならば

砂金とるまで砂を噛め

負けるが勝ちというのならば

勝つた相手に歯ぎしりさせろ

どうせ人生勝ち負けならば

負けた時には悔し泣き

当たつて碎けず また当たれ

当たつて碎けず また当たれ

♪

課長 中田君、今日は残業だ。私が君を男にしてやろう。

課長、中田に迫る

中田 課長、こんな所で筆おろしを？

課長 持つてるのか君は、おろせるような筆を！
 中田 カめば出るかもしれない。
 課長 うんこじゃないんだよ、アレは。いいから私とくつつくんた。
 中田 やめて下さい。私はきらさんとくつつきたいんですから！ 私が
 欲しいんなら欲しいとはつきりおっしゃったらいいいじゃありません
 か。
 課長 中田君。
 中田 はい！
 課長 君のことはこれっぽっちもいらぬ。私はこれでも自分を大事にす
 る方だ。
 中田 じゃ、単なる遊びで？
 課長 違うよ。君が男になり、同時に私が女になるんだ。
 中田 うっ(吐きそうになる)
 課長 失礼な奴だな。少なくとも君に「うっ」てやる資格はない。私たち
 は客観的尺度から見れば五十歩百歩だ。
 中田 どんぐりの背比べ。
 課長 うん。目くそ鼻糞を笑う、だ。
 二人 はっはっはっはっはあ(溜め息)
 課長 何だかいやんなっちゃったなあ。
 中田 課長、それで目くそと鼻糞がくつき合ってどうするんですか？
 課長 うん。昔、映画で見たんだが、二人でくつついて階段を転げ落ちる
 んだ。そうすると性別が入れ代わっちゃうんだ高校生の二人の。
 中田 「転校生」
 課長 そうそう、学校を転校するのと、男女の性がコロッと転向したのと
 ダブらせた見事なタイトルだったなあ。
 中田 それをやるうって言うんですか？
 課長 うん。
 中田 失礼します。
 課長 何だ、チャレンジする前に諦めるのか。
 中田 映画と現実の違いです。
 課長 ロマンを持つんだ。
 中田 それとこれとは違います。
 課長 男らしくないぞ！
 中田 (立ち止まる)
 課長 それでも男か。
 中田 部長。
 課長 課長だ。
 中田 もう一度言っていただけませんか。
 課長 何度でも言おう。それでも男か。
 中田 ぞくつとくるこの気分は何でしょう。

課長 君の中の「男」が目を覚まそうとしているんだよ。
中田 もう一度お願いします。

課長 それでも男か。

中田 おお！

課長 それでも男か。

中田 ああ、いい。

課長 それでも男か。

中田 ああ、ぞくぞくする。

課長 それでも男か。

中田 もっとお願い！

課長 完全に女になってるじゃないか。まるっきり逆効果だ。

中田 一種の憧れがこういう形になって表れるんじゃないでしょうか。

課長 君、そういうとこ、妙に冷静だね。

中田 じゃ、課長お願いします。(と目をつむる)

課長 別に目を閉じなくてもいいんだよ。

中田 (唇を突き出す)

課長 唇も必要ない。

中田 (服を脱ごうとする)

課長 脱がなくていいんだ。男になりたくないのか？

中田 なりたい、なりたいです！

課長 だったら余計なことしないでじっとしてるんだ 君はもう上半身は立派にクリアしてるんだ。

あとは一緒にくっついて階段を転げ落ちればいい。

いきなり階段落ちというのも危険だから、ここでちょっとリハーサルしよう。

二人、向かい合って腕をとり、ぐるぐるその辺を回る

中田 何だか楽しいですね。

課長 遊園地のコーヒーカーップじゃないんだから、つつ立ったまんまはないだろう。

二人、屋上をごろごろ転がる

そこへ星月きららがやって来る

星月 こんな所で何をなさってるんですか！？

課長 星月君！

中田 きららさん！

課長 休憩時間を利用して社交ダンスの指導をしてたんだよ。

星月 屋上で、しかも横になってですか？

課長 縦になってやるとコーヒーカップみたいになってしまっただよ。

星月 中田さん、本当なの？

中田 いえ、そのあの…

課長 はっきり応えるんだ！

星月 課長は黙っていて下さい。中田さん、あなた何か隠してるわね。さ

課長 あ、言いなさい。課長に何をされたの？（と中田を抱き起こす）

星月君、そういう言い方はないだろう。まるで私が、なあ中田君

課長 中田さん。中田さん、どうしたの！？ ショックで気を失った

星月 わ。

課長 あ、それは違うんだよ。中田君は星月君のことを…

課長 （突然起き上がり）課長、それだけは！（と首を振る）

星月 中田さん、何なの？ 課長の一体どんな過去をかばってるの？

課長 何にも庇ってないよ！ なあ。

中田 （再び気を失う）

星月 中田さん！

課長 おい！

星月 やっぱり。

課長 何が。

星月 やっぱりそうだったのね。

課長 何がどうだったんだ？

星月 そこでじっとしているのよ。

星月、走り去る。

課長 おい、中田君！ 目を覚ますんだ。とにかくここを離れよう。（と中田を持ち上げようとすると）なんて重いんだ。見た目は小さくさせて…

そこへメガホンの声

（声） そこを動くんじゃない！

Gメン85のテーマ？

高見沢やって来る。

続いて星月も。

課長 はっ、高見沢君！

高見沢 課長、驚きました。そこを一步も動かないで下さい

課長 （動く）

高見沢 あっ！ 課長っ、それ以上そこを動いた場合は、
課長 (二歩動く)
高見沢 あっ、あっ！ なんで動くんですか！
課長 気を失ってもいいのか。それ以上君が近付けば私は失神するかもしれんぞ。
高見沢 失神するふりしてそのまま逃げるつもりですね。
課長 そんな器用な真似はできないよ。
高見沢 とにかく動かないで下さい。かつこ含む失神。
課長 失神もさせてもらえんのか。もう勝手にしろ。

高見沢、星月からチョークを受け取り課長と中田の周りに線を引き

課長 何をしてるんだ？
高見沢 現場検証ですよ。
課長 彼女は死んでるのか？ それともこれは遺留品か？
高見沢 言いたいことがあったらちゃんと日本語使ってください。
課長 全部日本語だよ！
高見沢 全く驚きました。白昼堂々、しかも青空の下でセクハラなんて。
課長 セクハラ？
高見沢 あ、やつぱり。
課長 何だ、やつぱりって。
二人 セクハラ。
課長 ユニゾつたな。大体君たちはセクハラという意味を分かって言ってるのか？
二人 勿論です！

M「ルンパ・デ・セクハラ」(ルミ子と賢也よろしく歌い踊る)

♪ 耳に唇寄せる 熱い吐息ふきかける
でもそれが からだ震わせるのは 恋しているから
背中を指先が這い 軽く爪をたてる
でもそれが こころ溶かすのは 愛しているから
愛も恋のひとかけらもない 立場だけの関係
ただそれだけ 他には何もない(パヤパヤ)
男は耳元で「俺は上司」とささやき
指先はあやしうごめく
セクハラ セクハラ
たまったストレス ハラスメント
セクハラ セクハラ

課長 随分たつぷり説明してくれたな。

高見沢 さあ、課長。彼女に誤って下さい！

課長 謝るも何も別に悪いことをしてた訳じゃないんだ。そりや確かに誤解を招くような態勢だったということは認めるが：

高見沢 いつまでとばけるつもりですか。中田ちゃんを、僕の可愛い中田ちゃんをこんなひどい目にあわせて。

課長 すまん。君の中田ちゃんをこんな目に：ええっ！？

高見沢 星月先輩。

星月 いい機会よ。彼女が目を覚ましたら男らしく告白するのよ。

課長 告白？ 一体何の話をしとるんだ？

星月 さあ、高見沢君。はっきり言っごらん下さい。

高見沢 :

星月 何のために夜の公園で練習したの！？

課長 夜の公園で練習？

高見沢 (課長を目隠しして) だくれだ？

課長 誰？ 誰なの、許可もなく私の瞳をさえぎるのは：あの夜の！

星月 高見沢君、ほら！ 僕は、さあ言うのよ！

高見沢 僕は、

星月 以前から、

高見沢 以前から、

星月 中田さんのことを、

高見沢 中田さん：

星月 もういつまで甘えてるの。自分のことでしょ。

高見沢 先輩、僕にはやつぱり無理です。とても言えそうにありません。

星月 しっかりしなさい！ じゃ、私の言うとおりの大きな声で言うのよ。

高見沢 (頷く)

星月 僕は以前からー！

高見沢 僕は以前からー！

星月 中田さんのことをー！

高見沢 中田さんのことを

星月 声が小さい！ 中田さんのことをー！

中田、「はい？」と目を覚ますが、星月と高見沢は気がつかない

星月 愛していましたー！ もう一度言うわよ。以前から中田さんのこ

とを愛していました！

中田 きらら先輩。

課長 まずい。

中田 課長、私夢でも見てるんでしょうか。(と泣き出す)
課長 悪夢だ。

顔を見合わせる星月と高見沢
溶暗

【第四景】公園

M『LOVE IS OHENRO』

中田 ♪ しあわせがこんな形で手にはいるなんて
案ずるより生むが易しと言うけれど
今の私は 果報は寝て待て

高見沢 苦しみがこんな形でやって来るなんて
どうせ世の中ままならぬと言うけれど
今の僕は 覆水盆にかえらず

課長 初恋がこんな形で枯れ落ちるなんて
あてと禰は前から外れると言うけれど
今の私は 泣きっ面に(すずめ)蜂

星月 思いやりがこんな形で跳ね返るなんて
恩を仇で返すなんて言うけれど
今の私は 飛んで火に入る夏の虫

中田 薔薇色の人生が 今私にやって来た

三人 灰色のベールが 今私に訪れる

中田 眠れる森の美女のように

三人 蛇に睨まれた蛙のように

全員 目覚めると

中田 幸いが

三人 災いが

全員 あった

ああ 愛は巡り巡って

中田 歓びを

三人 苦しみを

全員 与え続ける 繰り返し

愛はお遍路

LOVE IS OHENRO ♪

錫杖の音、凜と鳴り、全員できまる。

課長 中田君。

星月 中田さん。

高見沢 中っちゃん。

中田 え？ 今どなたか私のことお呼びになりました？

課長 ああ、私だ。

星月 私もよ。

高見沢 僕も。

中田 (移動して独白) あー、どうしよう。皆が私を呼んでいる。きのうまでは給湯場の「ごきぶり」だって私を振り向いたりしなかったのに、今は皆が皆私に注目している。痛い！ 視線が痛い。あー、どうしよう。

課長 中田君、何を「ごちゃごちゃ」言ってるんだ？

中田 あ、課長。今度のことでは色々「ご迷惑」をおかけしてしまっ

て、本当に感謝してます。

課長 いや、そんなことはどうでもいいんだ。それより君に言っておかなければならない事があるんだ。

中田 (移動して独白) 課長ったら変に改まったりしちやって、まるで恋人にでも話しかけてるみたい：まさか課長、私が急に輝き出したもんだから私のこと、

課長 あるん 中田君。聞いているのか？ 君に言っておかなければならない事があるんだ。

中田 駄目です！ 困ります、そんな。それはお気持ちには嬉しく思いますが、私はそんな器用な女じゃありませんから。

課長 はん？

高見沢 中っちゃん、ぼ、ぼ、僕の話聞いていただけますか？

中田 高見沢さんも私に？ (移動して独白) 一体どうなっちゃってるのかしら、高見沢さんまで私に話なんて。おまけに「ぼ、ぼ、ぼ」の話を「なんて」もったりして九州だったら大変よ、昔プロレスラーでもそんな名前の人がいって実況のアナウンサーが困ったとか困らなかったとか聞いたことがあるけど、

高見沢 中っちゃん、聞いてくれるんですか、くれないんですか、どう
なんですか？

中田 お話って、プライベートなお話かしら？
高見沢 はい。

中田 (移動して独白) 信じられないわ。あの目は間違いなく人を恋す
る目よ。しかもその相手はともあろうにこのあ・た・し。あ
ー、幸せってこういうことなの？ねえ、誰か教えて。

課長 中田くん！ 何なんださっきから。それに一人でぶつぶつ言う
度にちよこちよこ動くのは構わんが、あんまりそっち行くと公園
からはみ出さず。
中田 すいません。
星月 中田さん。私もあなたにお話があるの。

中田 (独白しに行こうとする)

三人 待ちなさい！！

課長 またブツブツやるんだったらここでやりなさい。
中田 はい。

星月 あなた、誤解してるのよ。

課長・高見沢 (移動して) いきなり結論！

中田 わかっています。

課長・高見沢 (移動して) わかってる！？

中田 高見沢さんのことですよ。

課長・高見沢 (移動して) わかってない！

中田 あの夜の公園でのことは私全然気にしてませんから。

課長・高見沢 (移動して) 全然分かってない！

星月 ちよっと、二人ともがさがさ動かないで頂戴！

中田 中田さん。まずあなたに言うっておくことは、私と高見沢君は何で
もないということ。これは本当よ。

中田 (その場で独白) ああ、こわい！ あの星月さんがこんなに近く
にいる。しかも私に話しかけている。幸せってこういうことな
の？ 私には叫びたいほどのとまどいがあるだけ。幸せって…
こわい！

星月 それから私とあなたのことなんだけど、

中田 (独白) あー、失神しそうなくらいこわい！

星月 あなたにも特別な感情はもってないのよ。

中田 (一瞬莊然とした後、気を失う)

三人 (口々に) 中田君！ 中田さん！ 中田ちゃん！

暗転

【サンフランシスコ】

ジミー、歩いている
M『ラグタイム シスコ』

ジミー ♪

歩いて歩いて歩いて歩く

この国をこの街を体に染み込ませたいだけ
走っても走っても走っても 掴めない

この時をこの風を胸にしまいこめたなら

叫びたい 叫ぶ言葉もないのに

泣きたい 悲しいことなどないのに

サヨナラ 僕の大好きな人たち

サヨナラ 大好きな知らない人たち

歩いて歩いて歩いて歩く

この国をこの街を体に染み込ませたいだけ

走っても走っても走っても 掴めない

シー ユー アゲイン ひと目ぼれの街

歩いて 歩いて 歩いて歩く

歩いて 歩いて 歩いて歩く…♪

歌う中で、溶暗

ジェット機の飛び立つ音

【第五景】屋上

明り入ると、中田が屋上の端っこに佇んでいる

やがて決心したように衣服を正し、靴を脱ぎ、封筒を置き

鉄柵の一段高くなっているコンクリートに上がる

日は高く、下からの街の騒音が今日はやけに気になる

その音は中田の頭の中に乱反射するようにこだまし始める

(声) 止めないぞ。

ビクンと硬直する中田の向こうに課長が現れる

課長 止めない代わりに文句がある。勤務時間中に席をはずすなど言った

中田 筈だ。クラブ活動はアフターファイブにしなさい。

課長 クラブ活動じゃありません。

中田 あれ？ そういえば足にゴムがついてないな。

中田　こんなところからバンジージャンプしたらビルの壁にぶつかるとはありませんか。
課長　怪我するな。
中田　死んじゃいますよ！
課長　じやスカイダイビングか？
中田　パラシュートなしですか？
課長　怪我するな。
中田　だから死にますって。
課長　どんなになって？
中田　ぐちゃぐちゃになっ…
課長　そこ、降りないか。いくらちっこいからってそこに上られたまんまじゃこつちも首が疲れる。

中田、降りる

課長　きのうは、楽しかったな。

中田、上がる。

課長　楽しくなかったのか？
中田　これ以上私をみじめにしないで下さい。
課長　みじめ？　よくわからんが、みじめっていうのは、そんな、したりされたりするようなものじゃないんじゃないかな。
中田　だってきのうの私は、
課長　素敵だったよ、自信にあふれて。
中田　だから余計にみじめになって…
課長　そんなことは私にはどうでもいいとき。ただ、君の知らない一面を見て、それがとつてもよかったと言っとるんだ。
中田　それに、高見沢君への思いも吹っ切れたしな。
課長　諦めるんですか？
中田　いや、気が付いたんだよ、あれは恋でも何でもない。ただのなにものねだり、自分が女性に縁がないのを同性愛と思いついて正当化して、憧れを愛と錯覚させていたんだな。
中田　それ、私に言ってませんか？
課長　うん。

課長、笑う

課長　ただ君と私が違うのは、君には君に惚れてる男がいるということだ。

高見沢、来る

高見沢 中田ちゃん。

課長 私は人の弱みにつけ込むのは決して嫌いな方じゃない。だが、彼には負ける。

課長、去る

高見沢 中つちゃん。

M『こんな日が…』

中田 一つお願いがあるんだけど。

高見沢 なあに？

中田 中つちゃんって言うの、止めてよね。

高見沢 僕からも一つ。そこから降りて、これを履くこと。

中田、頷いてそうする

高見沢 ♪ こんな日が こんな日が いつか来るって

部屋に帰るたびに 思ってた

こんな日が こんな日が いつか来って

部屋を出るたびに 思ってた

こんな日が こんな日が

気が付いたら 口癖になってた

中田 高見沢君、きっと私に同情してるのよ。

高見沢 入社した時からずっと君を見てた。

中田 全然気がつかなかった。

高見沢 目線が合わなかったから。

中田 一緒に歩くとカッコ悪いね。

高見沢 でも僕はうれしい

中田 こんなチビでもいいの？

高見沢 僕は自分にないものが欲しいんだ。

中田 ♪ こんな日が こんな日が いつか来るなんて

他人のことだと思ってた

こんな日が こんな日が 来るわけないって

おかしな自信で 暮らしてた

こんな日が…

こんな日が…

気がついたら ここにあなたがいた

二人

こんな日が…

こんな日が…

気がついたら ほんとになつてた ♪

星月を追って課長やって来る

課長 駄目かなあ、今夜。例の公園で恋のてほどきをお願いできないかなあ。
星月 いやです。

課長 ハイヒールでも何でもなめさしてもらうから。
星月 いい加減にして下さい！

課長 君には母性本能というものはないのか。

星月 課長にはプライドというものはないんですか？

課長 ない。ほら、あそこの二人も仲良くやっとするじゃないか。私は君に

星月 少なからず好意を持つとるんだよ。

課長 私が一番好きなのは、

星月 うん。

課長 私自身です。(と去る)

星月 やな女だなあ。おいつ。いつまでいちやついとるんだ。社内恋愛は禁
止だ！

M『ご法度ソング』

♪ 駄目だ 駄目です いけません

公私混同許されないの

(OLたちも加わる)

ここは会社 社会の歯車

職場のラブはご法度

社内恋愛 ご法度

中田・高見沢 社長！！

課長 おだてたつてだめだ。社内恋愛は絶対に許さん。ねえ、社長…うわあ！

いつの間にか、女子社員たち、そして星月とともに社長がいた

課長 社長、お帰りなさいませ。

社長 いくら電話しても誰も出ないってどういうこと？

課長 実は部下が、社長がお留守の間に、法度の社内恋愛にかまけておりまして。
社長 社内恋愛！？ 誰と誰？
課長 あれとそれ。（と指す）
社長 あんたはどなの？
課長 私はもう潔癖でございます。会社が恋人でございますから。いいわ。社長室にいらっしやい。
社長、どんなお話？
星月 社長はサンフランシスコでお目覚めになったそうです。
社長 金髪の男の子とトランプしたのよ。場所はわかるわね。
課長 ゴールデン、ゲイと、プリッジ…って何言わせるんですか。
（社長、課長の腕をひつばる）うわっ！ 駄目です！ 例え社長でも、規則は規則です！

♪ 駄目だ 駄目です いけません 公私混同許されないの
ここは会社 社会の歯車 職場のラブはご法度
社内恋愛ご法度

社長・中田・高見沢 ♪ 恋も仕事も好きなのよ
会社に来る度 ウキウキワクワク
いやな仕事も 楽しくなって
辛い残業 何のその！

課長 ♪ 仕事と仕事と恋とは別のもの
なあ、みんな。

頷くOLたち

社長 重大発表をします。たった今から、社内恋愛を解禁にします！

驚く社員たち

社長 さらに！ 社内恋愛をしない人は解雇します！
課長 ちよ、ちよっとお待ち下さい。それは無茶苦茶ですよ。それじゃ、みんなクビになって…アラッ！??

社員たち、みんなペア(?)になっている
中田と高見沢、星月には他のOLたちがくつついて

課長 何なんだ、君たち。星月くん、大体君は自分が一番好きと言ってたじゃないか！ 社内恋愛は関係ないだろ！

星月 時代は刻々と変化するのよ。

課長 うるさいよッ！

演奏者 社長。実は私、半年ほど前から社長をお慕い申ししておりました。

いつの間にか、演奏者が社長に接近していた

一同 (演奏者名) 係長！！

社長 わたしも、あなたが本命だったのよ。

演奏者 やったーッ！

課長 なにそれ。

M『会社は踊る』

社長 課長。

課長 はい。

社長 さよなら！

課長 ちよつと、お待ちください！

社員たち

♪ 朝は早起き 満員電車 ギュツギュー

知らない人と体くっつけて ウーワァー

ゆらりゆれたら 傾いたまま オーノーッ

サンドイッチの中身みたいに グッグー

課長 社長、私にラストチャンスを下さい。(客席へ)そのあなた！ 私と社

内恋愛してくれませんか？ くれますね、ありがとうございます！

社長、私も社内恋愛の仲間入りでございますっ！

社員たち

そうさ仕事は楽しくダンスイング

リズムに乗せてコピも動き出す

会社が踊れば 社員もシンギング

イツツ ハッピー ハッピー ハッピー ハッピー

ジャストジミーズ！ カンパニー ♪

選ばれた観客をステージに上げ、全員でポーズする中
溶暗

【カーテンコール】

M 『当たって砕けず』

出演者登場

無理矢理参加させられたお客様に粗品を進呈

全員で礼！